

平和・人権  
社会・宗教  
政治と暮らし  
分かち合い

# 共に生きる

No.39

編集 / 〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 / 瀬下幸弘 FAX093-622-1290

睦月  
1  
2014

## わたしたちは

### 秘密保護法反対の手を緩めない

#### 安倍の靖国神社参拝に抗議

沖縄県辺野古埋め立て容認のニュースが事前に報道されている最中、12月26日、安倍晋三首相が突如として靖国神社を参拝したことに強く抗議します。

参拝後に安倍首相は記者団に「二度と再び戦争の惨禍によって人々が苦しむことの無い時代をつくっていくとの決意をお伝えするために」参拝したと語っています。これは詭弁です。まず、かつて日本が犯したアジア太平洋戦争は侵略戦争と認めねばなりません。そしてその戦争によって、数多くの人々を死に追いやり、今も悲しみ喘ぐ人々に向かって謝罪すべきでしょう。

ところが靖国神社は、アジア太平洋戦争を「聖戦」として賛美しています。そして天皇のために忠義を尽くして戦死した軍人などを「英霊」とし、褒め称えている神社（施設）です。これが世界の常識です。日本国憲法前文の「再び戦争の惨禍がおこることのないようにすることを決意し」とあるのは、戦争を起こした日本が世界に向かって発した謝罪と平和への決意表明です。ところが今、安倍政権は秘密保護法強行、日本版NSC設置、国家安全保障戦略の決定、武器三原則否定等々、まさに戦争国家への道を突き進んでおり、世界から信頼をなくしつつあります。軍事国家への道は断じて許されません。憲法違反の悪法が多々採決されましたが、わたしたちは反対の手を緩めません。あきらめずに真の平和に向かって声を発していきましょう。

二〇一四年の幕開けとなりました。昨年は読者のみなさまから多くの励ましと支えを頂き大変有難うございました。激動の時代だからこそ、拙紙「共に生きる」の毎月発行を今年も継続させていきたいと思えます。ニュースや写真を送って下さい。本年もよろしく。

編集部一同

「共に生きる」紙読者が  
新年号より北海道にも



今後、札幌ニュースが紙面に登場してくることでしょう。ご期待ください。

### 1月のお知らせ

- ◆ 1月11日(土)イチイチ祈りの会 援助修道会 …13時30分
- ◆ 1月12日(日)北九州信徒協代表者会議(小倉)…14時-14時40分  
「教皇メッセージに触れよう」講演とトーク(小倉教会)  
どなたでも参加できます。詳細3p …14時50分～
- ◆ 1月14日(火)社会福音部会 (アドラック) …19時
- ◆ 1月19日(日)正義と平和全国大会実行委員会(大名町) …14時30分
- ◆ 1月25日(土)キリスト者9条(西南KCC) …14時
- ◆ 1月26日(日)虹の会(黒崎教会-分かち合い)…ミサ後
- ◆ 2月2日(土)北九州関門ACO総会(天神町) …13時  
下関アムネスティ(下関市民活動センター) …14時

#### ときのことば

政治の話といっても根本的には、いのちの問題であり、仏教そのもの。…核の問題、戦争の問題、原発の問題、憲法の問題を信仰の課題として担っていく必要があります。

山崎龍明(浄土真宗本願寺派・武蔵野大学教授)

援助修道会 **修道院より**

**1月11日:イチイチ祈りの会**

場所は修道院聖堂、午後1時30分から。どなたでもお出でください。

# 下関駅前で 在特会がヘイトスピーチ

昨12月8日、「在日外国人の特権を許さない市民の会」5、6名が下関駅前の人口地盤で街宣を行った。私たちは黙ってプラカードなどで「差別をやめよう」「仲良くしようよ」をアピールしましたが、在特会に反対する(?)「反差別 愛国者連合」という日の丸を掲げた別グループが数名、ハンドマイクで「差別をやめて人間にかえれ」「日の丸を片手で持つな」「在特会は出てゆけ」など繰り返しがなりたてた。(10フィート事務局寺見氏報告から)



事実と嘘を混ぜて街頭宣伝する在特会日の丸を掲げている。



「反差別愛国者連合」の右翼?グループも、在特会に抗議。



「私達は民族差別を許しません」の横断幕を掲げて「仲良くしよう」等のボードを持って静かに抗議する市民。下関市民だけでなく、北九州市民も抗議行動に立ち上がりました。



2013年はヘイト・スピーチが日本中に広まった年です。これは特に東京、大阪などの在日コリアンの方が経営している店舗に向かって「朝鮮人死ね」「首吊れ」など悪意に満ちた差別発言を「在日特権を許さない市民の会(在特会)」と名乗るグループが行うようになってからです。女子中学生までもそれに加わり「朝鮮人は日本から出ていけ。でなければ南京大虐殺じゃなく、鶴橋大虐殺を起こす」などと叫ぶありさまです。あまりの異様さにマスコミも取り上げざるを得なくなりました。この「在特会」はインターネットで同調者をよびかけデモなどをしており右翼活動家の姿も目立つといわれています。安倍首相も「ネット右翼を自らの支持者」と位置付けてきました。しかしあまりのひどさに安倍首相も「差別は残念」と述べざるを得ませんでした。(前田朗/三一書房)

2013年10月、朝鮮学校に対する襲撃を起こした在特会に、京都地裁は人種差別判決を下し、1200万円の賠償金を言い渡しました。にもかかわらず、12月8日に下関駅前でもヘイトスピーチが行われたのです。表現の自由だと言う学者もいますが、このスピーチの内実は“脅し、脅迫発言”で犯罪行為そのものです。残念ながらこれを取り締まる法律が日本には存在しません。「法の下に平等」と謳われている日本国憲法14条が平然と破られていくこの国の将来は、どこへ進むのでしょうか。



## 日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(2)

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。文責/編集部

前号のポイント

【国際法上の性奴隷とは】

本人の意思に反し、逃げられない状態で性労働をさせられたこと。金銭の授受は全く関係なく、強制であろうが、だましであろうが、本人の納得があろうが、嫌だと言っているにもかかわらず強要されたことをいう。

〈日本政府は一切真相究明していない〉

河野談話は日本軍の関与を認めたものです。それまでは業者がしたとか、国家は知らなかったと言っていました。官憲でもって連行するなど強制的なことも認めました。そして今後真相究明をし、教科書でも教えるとなったのに一切政府はしていません。逆に河野談話は部分的に間違いがあったとか、戦争責任を認めた村山談話さえも今の政府は見直そうという立場に立っています。ただアメリカから見直すなど言わ

れて、いやいやながら河野談話を踏襲すると言っています。

〈日本政府は「文書は無い」と言えない〉

歴史学者などが多数資料を発掘してきたので「文書は無い」と言えない状態なのに「強制連行したという文書は無かった」と言っています。政府の言う強制連行とは“警察が入って縄をつけ引っ張って行った”ことだけをさしていますが、いろんな条件の中で本人の意思ではなく連れて行かれた人など様々な形態があるのです。

〈日本政府も認める「慰安所」の目的〉

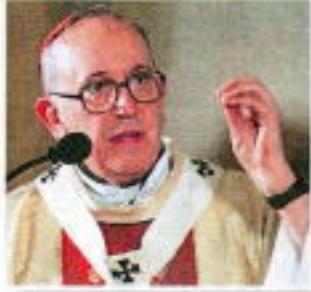
日本軍は各地で強姦しましたが、それにより現地の評判が非常に悪くなります。また兵士に性病が蔓延することを恐れ、性病に罹っていない若い女性を使ったり、もうひとつはスパイ防止のため、そして兵士たちに“慰安”を与えねばなどの目的は政府も否定していません。では誰がやって誰が管理したのか…(次号へ)

司祭・修道者・信徒 みんなで懇談会

フランス

テーマ

## 教皇メッセージに触れよう



講師  
カトリック小倉教会主任司祭

山元 眞 神父

今回の懇談会のテーマは、フランスの教皇様の発言が毎日のようにパチカンのように聞かれています。私たちが発せられている内容は、小倉教会のなかで、小倉教会の山元神父がインターネットで情報をウオッチされています。

お待ちしています

この内容を基に、教皇のメッセージに触れ、私たちの信仰のありようなど多岐にわたって皆様と分かち合いたいと思います。  
(追々泰治信徒協会長)

- と き／2014年1月12日(日) PM 2時50分～PM 4時50分
- と ころ／カトリック小倉教会
- 参加費／無料 どなたでもどうぞ。

主催 カトリック北九州地区信徒使徒職協議会

ノンフィクションライター・前朝日新聞記者

## 田中伸尚さんが話します

テーマ「壊憲と脅かされる人権」



- と き／2月11日(火) PM 2時～PM 4時30分
- と ころ／カトリック小倉教会
- 参加費／無料。

チオエチャンホア

## 崔昌華記念北九州人権集会 信教の自由を考える「2.11集会」

とんでもない悪法である特定秘密保護法案が横暴なやり方で国会において成立しました。民主主義の危機、人権が脅かされる危機、戦前の恐ろしい社会へ向かう危機。この悪法に反対の声を上げ、悪法の執行停止に向けて行動しましょう。

外国籍住民が安心して過ごせるため、若者や子そして孫たちが戦争に巻き込まれない平和な社会で生きることがするために。

主催／崔昌華記念北九州人権集会実行委員会  
(連絡先 090-2516-5169 朱)

「キリスト者・9条の会」北九州も賛同団体です。

特別掲載

## 私と秘密保護法

日本漫画家協会  
日本漫画家会議



にしやま すずむ  
西山 進

さんの手記

12月になって西山進さんから手記が送られてきました。「私と秘密保護法」です。法案が成立する前のものですが、ご自身の体験から書かれ、戦争を知らない世代の方々にもこの法律の危うさを知っていただくのに相応しい内容でした。西山さんは「普段、自分のことはあまり語らないが、今回は黙っておられなかった。」そうです。(イラストも西山進さん)

### 私と秘密保護法 西山 進

1945年3月、米軍沖縄上陸、四月日本軍全滅。毎日、特攻機の出撃が報道されていた。

三菱長崎造船所や軍部は、工員たちの労働意欲が下がっていることに神経を尖らせ、厭戦気分を広がるのを恐れていた。

そのころ、働いていた少年たちの「私物検査」が抜き打ち的に行われた。



少年たちが出勤した後、造船所の警務課と長崎市稲佐警察署の特高係がペアになって、少年たちの居室にはいり私物を検査するのだ。  
よりどころは1925(昭和2年)年制定された治安維持法。1928年に死刑が適用された国民弾圧法。

ところがその日、他愛ない「替え歌」を書いた私のノートが発見されて、稲佐警察署に押収された。

あれは1945年の5月のことだった。前日の疲れが取れないまま作業台に向

次ページへ

かっている。組長が飛んできた。

「西山、稲佐警察から出頭命令が来とるぞ。すぐ警務課に行け」

どう考えても、出頭のわけが思い当たらない。「警察に呼ばれるような悪いことはしていない」そういう思いが、反復した。

コンクリート建物の1階、扉をあけると、監視が出てきて、私が本人であることを確かめると、「稲佐署へいけ」とそっけなく言った。汗ばむような日ざしが体を包んだ。

造船所の水の浦門をでると、いつもの港の光景だ。しばらく歩くとやがて旭町。途中、左折して川沿いに緩やかな坂を上る。稲佐山のふもと、黒い稲佐署の建物が見えた。

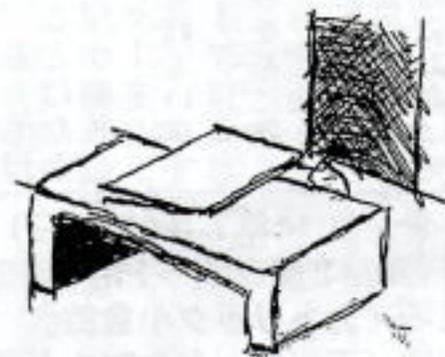
「警察に呼ばれる」。気持ちのいいものではなかった。

玄関を入り受付の巡查に来意を告げると「2階に上がれ」とそっけなく言った。

私は階段を上がり、教えられた調室のドアをノックした。

そこまではどうって言うことはなかったが、調室の小さな和机の上を見て、愕然とした。まぎれもない私のノートが付

箋をつけて無造作に置かれてあったのだ。



「入れ」と若い刑事が言った。

一見して特高警察だと分かった。

「そこに座れ」命令調だ。

正座させられると、若い刑事は、私の住所や家族のことを、ことこまかに聞いた。

「どうだ、この戦争についてどう思うか」「うん？仕事はきつつかか」

「どうしてこんな歌を聞いたとか」など執拗に聞いてきた。詰問は私の心を追い詰めるように威圧した。刑事のそのような質問より「警察に呼ばれた」ということが、父に知られることが一番怖かった。

私は刑事に迎合しながら日ごろ教えられた「忠君愛国」の決意表明をしたようだ。

情けないが、それが当時のわれわれの姿だった。

取調べはお昼から夕方まで続いた。少年の他愛ない替え歌から何も出て来るはずはない。

しかし戦争に協力する行為ではないのだから、はつきりしていた。

17歳の少年

を警察に呼びだして、見せしめに威圧する。汚

いやり方だ。

詰問を受けているとき、隣の



部屋から朝鮮人の「アイゴーアイゴー」という悲鳴が耳につきささった。そしてときどき調室の畳にたたきつけられていたのだろう「ドスンドスン」という音がした。

この事件があつてから、私の毎日は灰色だった。「警察に呼ばれた」ということだけで要注意人物になったようだ。

ある日、寮内で腕時計の盗難事件があつた。理由もなく造船所の警務課に呼び出され、犯人にされかかった。

そこは薄暗い部屋だった。

「そこに座れ」私はコンクリートの床に正座した。

守衛は寮で腕時計が盗まれた話をした。

「お前が盗ったんだらう」

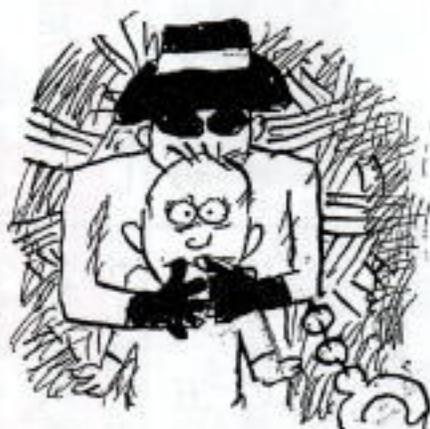
「何もかも分かっているんだ。白状しろ」

「しりません」

「前に伏せる」  
腕支えの姿勢にさせると、麻のロープが腰に走った。したたかに殴られて私は悲鳴をあげた。何もしていかないのだから、自白のしようがない。散々絞られたあと、守衛はあきらめたのか、「帰ってよし」といった。

外に出ると、悔しさと憎しみがどつとあふれて、大粒の涙がほほを伝わった。

今提出されかけている秘密保護法がこのような抑圧を生み出さないという保証はない。もしかしたら可決されるかもしれない。不安が広がる。戦時中の暗い重苦しい気持ちがよくえってきた。



1945年8月9日。せみ時雨。11時2分、原子爆弾。

私は茫々と広がる瓦礫の、死体の転がる原子野を歩きながら、どんなにか、「こんな戦争早く終われ」と願ったことか。戦争に対する憎しみは消えることなく続いた。

それが戦後の私を貫いたもの。

広島、長崎から68年、突然「特定秘密保護法案」が国会に上程された。自民党が多数を占めた今がチャンスと考えたのだろうか。まさに日米共同作戦前夜の地ならし。

国民に知られたくないことは、すべて秘密にして「国民の知る権利や報道の自由」を奪えば、憲法改定も容易だ。

これまで築き上げた日本の民主主義は根底から崩壊するし戦争する国への回帰だ。

「あの時戦争に反対していれば、原爆はなかった」と思いを語った被爆者を思い出した。原爆も、秘密保護法もすべての悪法に反対しなければ手遅れになりそうだ。

安倍首相は「強い日本を取り戻す」と叫びながら、一体この国をどこへ持っていくこうとしているのだろうか。



ひたすらアメリカのいうままになって、先祖「岸信介、吉田茂」の歩いた道を踏襲することが、誇りとも思っているのだろうか。彼は愛国者ではなく、まさに売国奴だ。言いすぎではないと思う。



このままで行くならば、日本は危険な原発を抱いたままやがてアジアに見捨てられ、滅ぶか、ふたつに一つ。

「国民の知る権利と報道の自由を守って」民主主義の根幹を守ってこそ、日本の明るい未来が開けると思う。

「憲法を守り、ゆるがぬ民主主義の社会をつくる」は、被爆体験を子どもたちに話してきた私たち被爆者の責任ではないだろうか。

私の脳裏に特高警察に調べられた長崎市稲佐警察署の調べ室と、拷問された朝鮮人の悲鳴が重なって聞こえる。その先に茫漠と続く原爆の残骸が見えてきた。

2013年11月24日記

西山進

平和講演(2013年6月27日)シリーズ全9回

## ポルトガルの日本最初の根拠地 ⑥

秋吉久紀夫

ルイス・フロイスは『日本史』

で「中国船の往来が止みポルトガル船が毎年時期を定めて日本へ通商に来るようになったのは基督教布教の絶好の手段である。なぜならば九州の諸侯は物質上の利害関係のみを顧みて、精神上の事をゆるがせにするから、伝道の端緒を得るべき機会が少ないが、しかし神の道を開くためにはまず浮世の欲望を満足せしめて、以て彼らを誘惑する必要がある。」と指摘している。

ここで言う「ポルトガル船」とは、ただ商船を意味するものではない。それらの船は軍艦でもあった。しかし薩摩でのザビエルの活動が盛んになればなるほど、仏教徒の彼に対する反対運動も勢いを増し、彼は遂に布教を拡大するためには京都にいる天皇に謁見して、許可を得ようと考えた。彼はフェ

ルナンデス修道士と信者ベルナル

ドを伴い徒歩で苦難の末に京都に着いたものの、都は激しい戦乱の最中で天皇の勢力は微々たるもので、実際の政治権力は地方領主の掌中に握られているのを悟ってやむなく引き返した。途中、山口で領主大内義隆の宣教許可とポルトガル商人の資金援助を得て教会を開設、五〇〇名の信者を得、さらに豊後の府内近郊日出で活動。彼がやつとその従者たちと共に念願の肥前の平戸に着いたのは、さらに四ヶ月もかかったのことだった。

ところで、ザビエルがなぜ肥前の平戸へ行くのを願っていたのだろうか。平戸は当時、日本国内で最も早く開港されていた重要拠点であったから。それは地理的に中国大陸との交流に無くてはならない存在だった。またここは当時松浦隆信が領主でありポルトガルの

貿易船が最初に接岸した日本の港

であった。一五五〇年、ポルトガル国王からカピタンと任命され、ポルトガルと中国及び日本との貿易事務を与えられたドアルテ・ド・

ガマ(Duarte da Gama)が貿易船

を率いて初めてこの地に到来。以

後平戸からほど近い大村純忠の領

地である横瀬浦や福田港が貿易港

となり、さらに長崎が日本の最大

な貿易港となるまで、平戸は当時

の日本での最もとも繁栄していた

貿易港であった。むろん大村純忠

がこの地をポルトガルに開港した

のは、彼ら商人たちが宣教師と共に、九州一帯でどのような活動を

しているかを、長年の探索から十

分に知り尽くしていたからに他な

らない。そのために彼は裏で密かに

ポルトガル宣教師に手紙を送り、

所領内で宣教活動を行うことを積

極的に勧めた。後に横瀬浦の港の

周辺約二、三平方町の土地を寄贈し、

教会を建てさせ神父の居住するこ

とを許し、ここで貿易するポルト

ガル商人には、十年間の税金をも

免除するとも書き送っていた。

ポルトガルの船団が急に平戸から大村領内に移動したことを烈火の如く腹を立てた松浦隆信は兵船五〇隻を出動させ、そこに停泊中

の二隻のポルトガル船を襲撃した

が、ポルトガル人の大砲で乗船を

攻撃され、激烈な戦闘の末に松浦

の軍勢は六〇数名が戦死し、二〇

〇数名が傷を負った。この戦いは

日本の武士がヨーロッパの商人の

乗る軍艦に敗退しただけでなく、

彼ら宣教師たちの策略の勝利でも

あった。こうしてやがて平戸を含

む周辺の地域、大村、有馬、天草

一帯の伝道活動は功を奏して、日

本でのカトリック教会の最も鞏固

な基地となった。日本カトリック

教会の刊行した一五八一年の『年

報』には、日本での十五万人の信

者の内、この地区に居住する者は

十一万人で、ここには日本最初の

神学校が開設されたとある。ザビ

エルが平戸にやって来たのはここ

が日本最初の外国貿易港だったから。

(次に続く)

## 安倍首相よ賢明になれ (Y)

安倍首相の靖国神社参拝ニュースが飛び込んできた。韓国と中国は反発を強めているとニュースには出ている。なぜ年末になって隣国との摩擦をねらったのか、わざとらしく感じられる。

若い世代の人は知らないだろうが、これは神社(いわゆる宗教)ではない。明治時代に作られた軍事施設である。これを機に勉強してほしい。



写真は神社入口の大鳥居  
(第一鳥居)  
続いて軍師大村益次郎像や  
神門と続き、拝殿がある。

「忠君愛国」思想を国民に植え付けるための国民教育の「場」という性格を持っている。

なお見学する場合は、戦死者の遺書などを前に涙ぐむ姿もみられるので配慮も必要である。

## ツイッター

### 「歩こう会」今年は4月6日(A)

お知らせするには早すぎ? でもお知らせします。毎年、障がい者と一緒に畑貯水池を“歩こう会”をしていますが、今年は4月6日(日)に行います。皆さまから戴いております景品にはいつも感謝です。3月に入ってから集めたいと思っていますので、ご家庭に眠っている小さな豪華品? などありましたらよろしくお願い致します。

### ミステリーツアーの場(S)

“筑前宮田駅”の名残りがあある住宅街を上ると池がありました。そこは露天堀の採掘現場で、昭和51年に採掘を終えて筑豊炭田最後の灯が消えた場所です。バス停の名は現在も「貝島炭鉱本社前」です。すぐ近くに宮若市石炭資料館があり、全国でも指折りの資材が残されています。説明が実に丁寧に分かりやすくして下さいましたのでお尋ねすると、貝島炭鉱で働いていたとのことで納得。小学校校舎を資料館にしているのどこか懐かしさを感じます。記帳しようと

ノートを見ると「島原鉄道ミステリーツアー40名」とありました。そうなんです。ミステリーな場です。行ってみませんか。なにしろ入館は無料なんですから。



写真はパンフより

## 台湾と交流します(山田弘)

北九州関門ACOグループは、3月6日~9日に台湾のグループと交流を予定しています。一昨年は韓国ACOの方が来られ、笑顔と感動のときを持ちました。日本の良さをアピールしたいですね。アイデアがあったら教えてください。

## 沖縄・宮古島からの緊急アピール

みやこ九条の会

みやこ九条の会などが募金を呼びかけ2007年に建立した憲法「九条の碑」を市が撤去しようとしています。碑は「非戦の誓い」の文字と九条の条文が刻まれています。今年10月下旬に塗料で落書きされたのですが、市は修復しないどころか、副市長は市議会で「碑の維持管理費の支出は市議会の了解を得なければいけない。得られない場合は撤去を含めて考える」とのべました。私たちは「九条の碑」を撤去させないため、全国的なキャンペーンを始めようと思います。

全国のみなさんに訴えます。

宮古島市と宮古島市議会に、全国から「九条の碑を撤去しないで」という声を届けてください。市長部局や議会事務局に、声を届けてください。

<http://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/index.html>

## はじめまして(N)

11月号に「幸せの糸電話」で投稿させていただきましたNです。やっとやっと予定より遅く生まれてきました。よろしく。



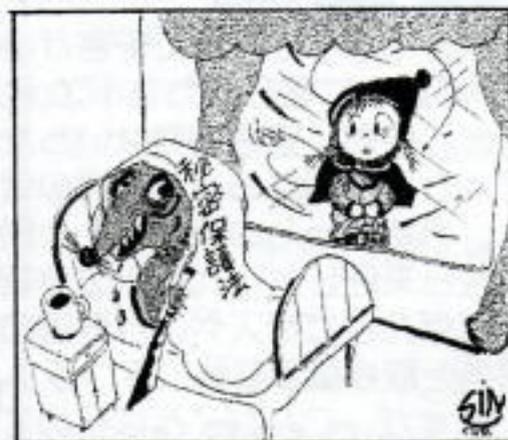
Rです

## 風刺漫画も処罰の対象!?

### 「秘密保護法案」に反対します

この法案は政府が一方向的に「秘密」を指定し、「何が秘密」かは国民に知らされません。

「秘密を」漏らしたり、得ようとしたものは処罰されます。(最高懲役10年) そうなれば自由な取材や表現は著しく制限され民主主義は破壊されます。この危険な法案を直ちに廃案にするよう政府に強く要求します。



マンガピースビレッジ

(画複製使用可)

馬場辰夫 西山進 芝岡友衛 倉田新 オダシゲ

東京都新宿区戸山2-21-203

左の諷刺画(倉田新さん作)は、西山進さんが送ってくれました。いま北九州市立美術館で「柳瀬正夢展」が開かれています。柳瀬正夢の絵を見て、西山さんはこの道に進もうと決心したそうです。

「柳瀬正夢展」  
2月2日まで  
市立美術館で  
開催

「キリスト者・九条の会」北九州での講演

## 沖縄という鏡を通して見える日本国 (2)



日本キリスト教団牧師（沖縄在住）

平良 修 牧師

「あなたにとって沖縄の心とは何ですか」

かなり前、沖縄に西銘順治という自民党系の知事がいました。なかなかの太い人物だったと思います。ある時、新聞記者が質問しました。「あなたにとって沖縄の心とは何ですか」彼は「私にとって沖縄の心とは、日本人になりたくてなりきれない心だ」と答えました。県知事がそう言ったのです。このデリケートでわかりにくい答えは一体何を含んでいるのでしょうかという問題です。

確かに沖縄県は日本国の一部です。しかし、かなり一般的な県とは違うものを持っているんです。沖縄は亜熱帯で、そこで作られた民族性というものがありません。寒帯や熱帯で生まれ育った人たちは違った気質が長い間に作られてくると思います。そういう特質は確かにあると思います。これは大事にしなくてはならないと思っています。「それは明日でいいよ。今日しなくても」と言ってしまう。熱帯では暑くて死ぬことが、寒帯では寒くて死ぬことがあるかも知れません。亜熱帯ならそういうこともなく、食べ物か無くなってしまう心配もあまりしなくていいんです。いっぱい自然の食べ物がありますから。そういう意味ではのんびりと生活できる環境だと言えるでしょう。自然に対する気質を持っており、どこかでゆったりし、焦りません。沖縄こそ人間の住む所だと言って、ヤマトから引越す人がいます。忙しい生活をされている人が、沖縄がすぐく気に入って定着するんです。中には、沖縄の人とは一緒に仕事が出来ないという方もいます。今すぐしなくちゃならないことでも、「夕方までにできるでしょ。」と言います。これじゃ一緒に仕事が出来ないとカンカンになって怒るモーレッツ社員が日本にはたくさんいます。要するに、いいなと思われる面もよくないという面も含めて

変わった特質を持っていると思います。

沖縄は、5百年続いた琉球王国でした。その前の先史時代を含めればおよそ千年に亘って培われた独特の歴史があります。文化、言語があります。沖縄は琉球音階がドレミファとは違います。NHKに民謡を訪ねてという番組があります。あの中に琉球民謡を訪ねてという番組が、あつたのかなと思うのですが、問い合わせはしていません。おそらく取り上げにくいと思います。琉球民謡は違い過ぎるからです。民謡といえば一般的にヤマトの民謡です、私の聞いた範囲に於いてですが。取り上げにくい程の違いを持っています。違いがあることを認識してほしいのです。言葉が違います。言葉は決定的に大事な力を持っているでしょう。言葉は思想を形成していきますからね。違いがあることは当然で、違いは尊いと思っています。色んな違いを持っていることがその社会の豊かさじゃないですか。しかし、日本国籍を持っているけれども沖縄人だと思ふ人が割と多いということは、もう一つ理由があります。西銘知事が言った「日本人になりたくてなりきれなかった」とは文化的なこととは違った面があると思うのです。それは沖縄が日本に組み込まれてからずっと国内植民地扱いされているという事実です。

実態は国内植民地です。

それに対する沖縄の違和感があるんです。不信感があるんです。反感があるんです。それがかなりありますから、日本人になりたくてなりきれない思いがあるし、どこか違ってくることに繋がってきます。これは非常に残念なことです。この違和感を与えている問題を簡単に説明します。

(続く)

### 編集後記

毎年のことですが、年末ぎりぎりまで来客があります。12月26日、2年振りに来られた70代女性の方が年賀状申込みの後、突然「安倍総理はいったい何を考えているんですかね。朝から靖国参拝の報道があつたけどあの人、お坊ちゃんのまま…」と興奮して話だしました。翌日来店した70代後半の会社社長も「いまの政治家はほんとに素人や。自分達のことばかり…」と財布を取り出しながらぶつぶつ。30年弱商売をしていますが、こんなことは初めてです。私たちができることは、内閣支持率を下げる運動の展開。老いも若きも女性も男性も信仰ある人ない人も共に行動しましょう。今年もよろしく(瀬下)